

先生方の研究報告会



先週の1月26日(水)、「第68回福島市公立学校教職員研究報告会」が行われました。清水幼稚園の先生方もこの研究報告会に研究物を出品し、審査会で推奨作品に選ばれ、この日、市内の公立幼稚園・こども園の先生方に向けてオンラインでその実践を発表しました。

清水幼稚園の研究のテーマは「豊かな体験活動を通して主体的な幼児を育てる ～地域とのかかわりを大切に～」というものです。

教育委員会の指導係の先生からは「地域のよさを生かしながら、幼児の豊かな体験活動が展開されるよう実践を積み重ねた研究である」とのお褒めの言葉をいただきました。

飯坂線を利用した園外保育や田んぼの見学など地域の良さを生かした保育を展開したことが評価されたのだと思います。これも地域の皆様そして保護者ボランティアの方々などのご理解とご協力があったおかげと心から感謝しています。そして何よりも素直に反応する子どもたちの学びの姿が素晴らしいと評価されたのだと思います。

幼稚園は、小学校や中学校と同じ「学校」として位置づけられていて、文部科学省が示す幼稚園教育要領によって「教育」を行います。ですから幼稚園では、子どもたちを一定の時間、安全にお預かりしているというだけではありません。子どもたちの発達の段階や子どもたちの実態に応じて、明確な意図をもって、計画的に教育活動を進めています。

今回の研究物展に出品した研究のテーマにも、「子どもたちが、ワクワクするような体験活動の中で、自分で考え、判断して、自分で決められる子になってほしい」という先生方の熱い思いと期待が込められています。

「この子はいつか必ずできるようになる」「この子には力があるんだ。」そういう熱い期待のまなざしに触れることがきっかけとなって、子どもたちは、持っている良さや能力を開花させていきます。才能は、そこにもともと「ある」というより、才能あるものとして見られることで「生まれる」のだと思います。

これからも教育研究を地道に続けていきたいと考えています。